

# つなまち

2019年7月23日発行

No.213

## 6月定例会 6/12～14

補正予算、6月議会採決結果……………	02
請願・討論……………	02～03
委員会レポート……………	04
一般質問 町政を問う……………	05～09
委員会報告……………	09
町民登場 この人に会いました……………	10



第2回津南未来会議

津南町議会

検索

町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。  
発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 草津 進

令和元年第2回定例会が6月12日から14日までの3日間開催されました。一般質問では、8名の議員が立ち、地域課題について真剣に議論が交わされました。また報告2件、議案6件、請願3件が提出されました。議案はすべて可決され、請願2件は不採択、1件は継続審査となりました。

# 令和元年度補正予算

## 一般会計

補正額	6,363万円
総額	65億4,118万円
主な歳入	
プレミアム付商品券事業補助金	1,732万円
医学生等修学資金貸付金元利収入	513万円
公有建物災害共済金増	3,666万円
主な歳出	
地域公共交通運行業務委託料増	319万円
津南町地域交通協議会補助金減	412万円
プレミアム付商品券事業補助金	1,100万円
介護保険特別会計繰出金増	769万円
除雪車・消パイ修繕料増	1,800万円
特別会計	
後期高齢者医療特別会計	
補正額	18万円
総額	2億85万円
介護保険特別会計	
補正額	57万円
総額	4億38万円
病院事業会計	
補正額	71万円
総額	4億974万円

## 令和元年6月 議会採決結果

議案番号	件名	表 決 状 況										採決結果		
		半戸義昭	村山道明	石田タマエ	風巻光明	筒井秀樹	桑原洋子	中山弘	津端眞一	大平謙一	河田強一		吉野徹	恩田稔
議案第30号	津南町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第31号	財産の取得について(除雪タイヤドーズ)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第32号	令和元年度津南町一般会計補正予算(第2号)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第33号	令和元年度津南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第34号	令和元年度津南町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第35号	令和元年度津南町病院事業会計補正予算(第1号)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
請願第1号	10月からの消費税10%増税の中止を国に求める請願	×	欠	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	不
請願第3号	津南町桑原悠町長の辞職勧告決議案の採択を求める請願書	×	欠	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	不

●採決結果の記載方法 (可=可決 否=否決 採=採択 不=不採択)  
 ●表決状況の記載方法 (議員個々の賛否: 賛成=○・反対=×・欠席=欠・除斥=除: 議長は表決に参加できません)

本議会は、桑原悠町長の辞職勧告決議案という大変重い決断を迫られました。議員一人ひとりが、津南町の将来のためにどう判断をするべきかが問われました。

## 請願・討論

10月からの消費税10%増税の中止を求める請願

賛成少数 不採択

賛成討論 桑原 洋子

消費税増税により、この津南町の経済情勢、暮らしが良くなると皆さん思いますか。中小企業、小規模事業者、農業者を更に疲弊させ、経営に大きな影響が出るのではと大変心配である。低所得者ほど負担が重く、年金生活者が多いわが町で、増税になればより生活が苦しくなるのは目に見えている。インボイス問題も大打撃となり、複数税率による混乱、対策もとられていない中で、増税を強行するのは許せない。アベノミクスで広がった貧困と格差を更に拡大させる消費税増税に、住民の代表である議会から反対の声を出して行くのではないか。

## 津南町桑原悠町長の 辞職勧告決議案の採択を 求める請願

賛成少数 不採択

**反対討論** 河田 強一

請願第3号について反対討論をする。まず、議員に対しての無礼な発言については、事実ではあるが、翌日、本会議開会の前に議員に対してお詫びをしており、また、その際に議員からは何も意見もなく、すでに解決済みの事柄。また、保育園建設に対し不適切な進め方と発言については、「10億円は決して高くありません」との発言の後、このことについて、しっかりと説明がなされている。また、議会に対しての説明が不十分との指摘については、全員協議会や一般質問の答弁で何度も説明がなされている。

各種団体との不適切な対応と発言については、発言内容が記録されていたものについては、何の問題もないと認められる。無い物については、実際にその場で聞いた人しか真実はわからない。

このような点から辞職勧告に当

てはまらないと考え、本案に反対する。

**反対討論** 中山 弘

請願の主旨理由の1番です。文書に一蹴や嘲笑、侮辱等書かれているが、個人のとらえ方の表現である。話の一部を切り取ったのでは、内容が全く違ってくるということである。

女性議員の質問内容を町長が書き留めているわずかな時間を、女性議員が攻め立てた事実が記載されていない。

請願の主旨理由の2番です。

不適切な進め方とありますが、これから混合保育の解消等について検討した「調査特別委員会」から報告があるわけです。この件の発言も一部を切り取ったのでは全体が把握できない。この発言後、建設費の使途や理由を述べているので全体の内容を理解していない。

請願の主旨理由の3番目の各種団体との不適切な対応と発言です。

総文福祉常任委員会で請願者と町長から聞き取り調査を行った

が、請願者の話は町長の説明とは多くの違いがあり、各対応のその後はより良い交流をしている。

この請願は決して町を良くするものではない。一人の人生、一つの町の未来を左右するこの請願に反対する。

**反対討論** 桑原 洋子

町長の辞職勧告決議をすることは大変重く、事由も含め慎重に判断しなければならぬことである。議員に対して、本会議中の不適切な言動は許されず、議員や住民からの批判は当然である。

保育園建設でも1園構想の計画を強引に進めてきたことは、議会を軽視、住民に寄り添った姿勢とは思わない。様々な団体への発言や対応では、今議会で事実関係がすべて明らかになったとは言えないが、町民も町長の言動には憂慮している。

町長の解職請求、いわゆるリコールは住民の権利である。

私達共産党は、政策では町長の違いが多くあると思っている。政策上の違いは、議会の場などでこれまででも、これからも論戦の必

要があると思っている。

住民の暮らしを守るため、町長には町を代表する者として、その言動には内外に恥じぬよう、厳に慎むことへの反省を促し、反対とする。

**反対討論** 半戸 義昭

町長辞職勧告の請願が出されたことは、極めて遺憾であり残念と感じざるを得ない。参考人からのご意見など傍聴させていただき、辞職勧告しなければならぬ程のものか判断に苦慮する内容と受け止めた。しかし、町民から出された町長への不信任は町長も重く受け止め反省をしていただきたい。上に立つものはより謙虚に、周りの人の意見に真摯に耳を傾け、言葉一つ一つに慎重な発言が求められる。桑原町長約一年を評価するならよくやったと評価したい。立ち止まるのが許されない今の津南町、他に誇れる津南町にするために、今後もトップリーダーとして引き続きしっかり町政に取り組んでいただきたい。

## 委員会レポート

## 総文福祉常任委員会

## 名古屋市美晴台考古資料館

とき 4月12日(金)

ところ 愛知県名古屋

内容 1979年から続く名古屋市美晴台考古資料館の活動の視察をした。

美晴台遺跡の発掘と公園機能を兼ね備え、1992年には、学芸員12人体制で、設備の整った資料館だったが、現在では学芸員2名体制となり、人員も削減、埋蔵物の整理もままならない状態だということであった。

展示物も少なく、埋蔵物も倉庫が点在し、増えるばかりで予算もないため、財源確保が課題となっていました。

施設の維持管理のためには、入館料は少しでも確保した方が良く、という説明であった。

専門家の意見として、津南町は火焰土器があり、特別展示もおもしろい。津南は美晴台のようにならないで、と話されていたのが印象的であった。

## 視察を終えて

外部から見ると津南町の文化遺産は町民が見る以上に魅力を感じ

られる。今後財政難の中、ジオパーク等で行政負担、町民負担が増えないような運用方法の必要性を感じた。

(担当 筒井秀樹)



名古屋市見晴台遺跡

## 産業建設常任委員会

## 次世代型有機物減容装置

とき 4月11日(木)

ところ 愛知県名古屋市「玉三屋食品株式会社 守山工場」

内容 産業建設常任委員会・総文福祉常任委員会合同にて視察を行った。

視察先と内容は、株式会社AS K商会の提案による次世代型有機物減容装置を設置している玉三屋食品株式会社守山工場の実動現場の確認と当町の焼却プラントとの違いだ。今までにない処理方法であり、現代に合う装置と思われる。廃棄プラスチック問題が世界的

全国的な課題となっている今、この処理方法は画期的な施設と考えられる。

この工場では、日量10トンの処理施設であり、生ごみ、ビニール類、プラスチック等5年間の処理実績があり、焼却処理と違い焼却灰は出ず、残渣はセラミックとなり再利用可能とのことだ。

## 視察を終えて

当町のプラントは老朽化しており、数年後、新設か業務委託か結論が出ていない。今こそ、この次世代型有機物減容処理装置の導入の検討を進めるべきと考える。

(担当 津端眞一)

## H30年度事業成果巡視

とき 4月25日(木)

ところ 町内各所

内容 H30年度所管事業成果巡視を実施した。

地域振興課においては、マウンテンパーク津南におけるDF350型圧雪車の状況を確認した。老朽化により、クロココースをはじめ、大会の管理運営のための圧雪車更新事業である。(事業費3,164万円 県補助40パーセント)建設課においては、越手線改良舗装工事を査察した。(L100m W5m 工事費用1,125万円)修復改良が急がれていた十二ノ木豊船線消雪パイプ布設換え工事が完了した。(L100m 工事

費用792万円)

中子水道配水池新設工事が完成を迎えた。

(担当 吉野 徹)

## 津南町農業改良会議

とき 4月25日(木)

ところ 役場大会議室

内容

- 1、地域振興課農林班から平成31年度事業概要について説明
- 2、十日町農業普及指導センターにおける普及指導計画の概要について説明
- 3、新潟県高冷地農業技術センターの複合農業の推進についての説明
- 4、県営妙法育成牧場主要業務の内容について説明
- 5、県共済組合魚沼支所から平成30年度共済金支払い状況の説明
- 6、津南郷土地改良区より維持管理事業の説明
- 7、JA津南町より各事業の重点方針および取扱計画の説明
- 8、今年度新しく始まったグループディスカッションの内容について、出席者全員を6グループに分け課題を選んで検討した。

## 会議を終えて

津南農業の問題が浮き彫りになった会議であった。農業関係者一丸となって取り組む必要があると感じた。

(担当 大平謙一)

# 町政を問う!!

## 一般質問 (8議員)

1

**半戸 義昭** 議員 (5ページ)

1. 農業専門職配置、意義と展望は
2. 認知症予防対策は

2

**石田タマエ** 議員 (6ページ)

1. 町道中央線危険が多い、対策は
2. 病院駐車場、手狭だが、対策は

3

**大平 謙一** 議員 (6ページ)

1. 津南版DMO、未来会議の今後は

4

**風巻 光明** 議員 (7ページ)

1. 町公共交通体系の今後と進め方は

5

**吉野 徹** 議員 (7ページ)

1. インフラ整備国県への要望について
2. 軽減税率制度への対応は

6

**栗原 洋子** 議員 (8ページ)

1. 竜ヶ窪温泉施設への支援策は
2. 保育園整備、町長の姿勢を問う

7

**筒井 秀樹** 議員 (8ページ)

1. 町の情報発信と取組について
2. 配食サービスについて

8

**恩田 稔** 議員 (9ページ)

1. 外国人による不動産取引について

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

## 農業専門職配置による津南農業の展望は

**町長** 昨年水不足対策として水稲渇水被害応急対策事業を実施した。今後、ダム、ため池の改修、新設については関係者と慎重に協議し、必要が

**問** 小雪山、少雨など異常気象による水不足対策に農家からの切実な声にどう応えるか伺う。

**町長** 県から派遣して頂いた村山参事は、現在、農業関係者、団体などと精力的に意見交換などを行っている。今後は参事を中心として、新潟県、関係機関と連携しながら、地域振興課、農林班全体で課題に取り組んでいかなければならないと考えている。

**問** 農業立町の津南町。しかし、農業を取り巻く環境は厳しい。その中で専門職を設置した意義と展望について伺う。

### どう、導く 津南農業の未来



半戸 義昭 議員



水不足が心配な中子ため池

**町長** 現段階では認知症予防の決定的対策はないが、認知症予防の普及を図るため、サポーター養成講座などを開いている。水中運動、健骨体操など引き続き行っていきたい。

### 認知症予防の取組は

**問** 高齢化が進み認知症が社会問題になっている。認知症予防対策について伺う。

あれば国、県に要望していきたい。

# 「危険を承知」だけでは命は守れない



石田 タマエ 議員

## 危険な中央線(病院通り)の早期改修計画を

**問** 最近、高齢ドライバーによる事故と歩行者を巻き込む重大事故が多発している。町道中央線は、車の通行や歩行者が多く危険な道路だ。また、津南病院が院外薬局となったことから病院前は車や歩行者でかなり混雑する。更に、国道117号からの入口は、電柱が道路にあり歩行者は電柱をよけて、車道にはみ出して歩かなければならない。様々な事故の報道を受けて、今後対策が必要と考えるが、見解を問う。

**町長** 町道中央線は病院・保育園・社会福祉協議会などの公共施設があり、生活に欠かせない道路である。まずは、電柱移設を事業者と協議していく。また、側溝に蓋をして歩道として利用することから



混雑する病院駐車場

進めたい。  
**建設課長** 危険は承知しているが、周辺整備には多くの課題がある中、優先順位をつけ対処する。  
**病院駐車場の改良を**  
**問** 津南病院の駐車場は、院外薬局となったため、病院玄関から薬局までの間、時間帯によっては車と歩行者で非常に混雑する。病院玄関前の駐車場の改良が必要。また、裏の駐車場から直に病院に入る工夫ができないか。  
**町長** 病院前の道路には横断歩道を設置したが駐車場の改善には至っていない。注意喚起看板の設置や薬の配達等を検討する。また、裏から病院へ入るための改修には財源が必要であり難しい。建物裏(職員駐車場)は狭いので患者用の駐車場にはできない。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 津南版DMOと津南未来会議の関わりは



大平 謙一 議員

## 日本版DMOに登録するのか

**問** DMOという組織は色々な条件があるが津南版DMOもそれにあわせるのか。

**町長** DMOという考え方が、観光事業者だけのものではなく、町全体の産業に関わる人の下支えになるようなものが観光地域づくりという考え方である。また、町と町内の人の繋がりが、町外の人との繋がりの町づくりをしたい。日本版DMOは法人化を基本としているので、津南版DMOも認可申請し法人格を取得したい。

## 津南町観光協会との関係は

**問** 観光協会との関係はどうなる。

**町長** 現在、町観光協会は組織の見直しを行っている。その結果を見て観光協会と協議し、どのような体制にするの

が将来、関係人口、繋がりの人口を増やせる政策が展開できるか見極めたい。

## 津南未来会議と津南版DMOとの関わりは

**問** 会議の提案はどう活かすのか。

**町長** 津南未来会議は49人。5月に第1回の会議を開いた。この会議での提案は提案で終わるのではなく、検討委員のできることは取り組んでもらう。DMOは会議で出てきた事業の調整や実行にあたってもらう。  
**問** 地域創生にどう活かすのか。

**町長** DMOが担うと思われる事業については、9月を目的に検討し、補助対象になるようであれば事業計画を申請する。



第2回津南未来会議

# 便利な交通網を

## 病院・買い物などに使い勝手の良いダイヤを



風巻 光明 議員

**問** 交通体系網は町民の多様なニーズに対し、それを集約し利便性をどう向上していくのがポイント。特に病院、買い物など現在の運行ダイヤでは一連の動きが難しい。どのように点と点を線で繋いでいくか改善の必要があるが。

**町長** 通院については、路線バスとスクールバスを利用しているのですが、基本的に同じ体系を考えている。現在の体系を基本に使いやすさと便利な交通体系を協議したい。

**総務課長** デマンドと路線バスが複雑に絡み合っていて使いづらいということもある。経費をみて検討したい。

## 高齢者の免許返納も考慮した交通体系を

**問** 最近、高齢者の交通事故



新しくなったスクールバスで専用化を

が連日のように報道されている。これは40年前のマイカー時代に免許を取得した人が軒並みに高齢者となって、この事態を予測できず国等で対策を取らなかつたのが原因である。津南町の70歳以上の免許所持者は全体の20%おり、全国平均の13%を大きく上回っている。もうすぐ団塊の世代も80歳に到達し、更に増える。町として重要な問題として取り組む必要があるが。

**町長** 交通網計画か、交通安全対策で考えるべきか、判断が難しいが、町としても大きな課題として研究したい。

**副町長** 高齢者の対策は色々検討した経過がある。農作業をどうするのかなど、国でも動き始めたので、状況を見ながらどのような対策ができるか検討する。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 町 インフラ整備について

## 国道405号未開通区間、国への要望は



吉野 徹 議員

**問** 未開通の長野県栄村切明〜群馬県中之条町野反湖までの12kmの国道405号線。町村を越えて署名運動が進められている。

柏崎刈羽原発から50km圏内の津南町・栄村、事故時の避難道路として、最重要路線と思われる。

新潟・長野・群馬をつなぐ関東への最短路線でもあり、観光産業・地域経済など、深い関わりを持つ道路と考える。今後、町としての取組について伺う。

**町長** 年度内に、新たな協議会を津南町・栄村・群馬県中之条町と3町村連係の中で立ち上げ、全線開通に向け協議会の中で要望活動を進めていく。なお、7月中旬に会発足に向けた準備を進める。



群馬県中之条町町長・議会議員と現地調査

**問** 10月から、消費税が10%に引き上げられる。軽減税率や、税額記載方法適格請求書保存など理解に困難を生じている。

事務処理負担が増すなか、行政として、関係住民に対して早急な周知と指導が必要と思われるが。

**町長** 事業者・商工会等には税務署による説明会の開催のほか、町でも協力要請に基づきチラシの配布等により周知を図る。

また、個人向けに相談等、税務署と連携しながら進めていく。

# 憩いの場、(株)竜ヶ窪温泉に支援を



楽原 洋子 議員

## 筆頭株主としての責任と具体的支援を

**問** 町は委託料として、萌木の里に年間400万円、リバーサイド津南410万円、クアハウス津南に約2700万円を支払っている。竜ヶ窪温泉には、平成26年300万円の増資後、委託料は支払われていない。町は筆頭株主として支援は当然だ。地域から委託料支払いを求める1138筆の署名も提出された。住民の声に耳を傾け、具体的支援と契約の見直しなど、真摯な対応を求めます。

**町長** 新しい役員を中心に経営改善に取り組んでいる。地域住民の熱意を受け止め、今後のことはみなさんと協議していく。

## 保育園1園構想への姿勢は異常だ

**問** 答申は2園、町は急ぎよ1園構想とする住民説明会をしてきた。12月特別委員会を設置、調査中にも関わらず住民説明会を続け、参加した議員の発言を抑えようとする教育委員会の姿勢は異常だ。

町長は、この1園構想への変更疑問を感じないのか。

**町長** 説明を受け1園構想に理解を示した。目指すべき方向は一緒だ。

**問** 教育長も答申を出した委員だ。もう一度諮問すべき。

**町長** 再度諮問の必要ないが住民関係機関と十分な議論が必要である。

**問** 答申への検証は否定、反論が多い。委員の気持ちを考えているのか。

**町長** 否定、反論と思っていないが、不快や誤解を与える表記についてはお詫びしたい。



住民に愛される竜ヶ窪温泉

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 新たな情報発信の取り組みを



筒井 秀樹 議員

## 町の情報発信の取組について

**問** 日本で一番注目を集める女性町長が誕生し、もう1年。町長の一挙手一投足は、全国的にも注目されているが、その注目度合いを津南町として活かし切れていない。HPでは受け身な姿勢なので、津南町のアピールには結び付いていない。町長の肝いりで津南未来会議も開催され、注目が集まるのが予想されるが、情報発信の手段としてSNSの活用は有効ではないか。

**町長** SNSの活用はしていない。情報発信の頻度が不定期だったりと細やかにできていない状況もある。情報発信担当職員は兼務であるため限界がある。他の自治体の事例を研究したい。旬の情報発信の対応は重要。町内の方々も津南ブランドの発信に取り組んでもらいたい。

**問** 画像配信であれば、比較的容易ではないか。  
**総務課長** やらない気持ちではない。対応できるものは考える。

## 配食サービス事業について

**問** 津南町の高齢化も益々進み、配食サービスも100食を超えてきている。今後も需要は増えていくと想定されるが、今後の見通しは。

**町長** 町社会福祉協議会及び、老人給食ボランティアの協力を得て行っているが、指摘のとおり、今後も増加が予想される。配食サービスを安定して継続できるように、人材の確保に努めていく。

**問** 継続にあたり、補助等は考えているか。  
**福祉保健課長** 今後も支援を継続していきたいと考える。



注目の集まる津南未来会議

# 外国人による不動産取引について



恩田 稔 議員

## 空き家や宅地の取引は

**問** 少子高齢化で地方の人口減少が止まらないことから平成26年に地方創生が打ち出され、国はインバウンドを積極的に推進してきた。昨年の訪日外国人は3119万人と日本の経済に大きく貢献している。またインバウンドに関連して、投機目的の不動産投資も増大している。経済効果は評価できるものの、一方で様々な弊害も発生している。近隣の温泉地でも外国人が民宿や空き家を購入し、自国の観光客を受け入れているが、組合や協会には加入しないため実態の把握が難しいとのことである。津南町は人気の観光地ではなく、過去にそのような事例なかったと思うが、大地の芸術祭効果で世界からも注目される地域になったことで

対岸の火事と言っているらしい事実が起きている。

不動産投資をすべて否定するものではないが、秩序あるものでなければならぬと考える。町は今後どのように対応する考えか。

**町長** 芸術祭やスカイランタンで津南町にも外国人の姿が増えたが、不動産を取得しようとする情報は聞いていない。ただ、不動産取引の基本は個人の契約であり、行政が入るのは難しいことである。

**問** 農地については農業委員会があり、不当な売買はできないと考えていいのか。

**農業委員会会長** 農地の売買については、農業委員会の許可が必要である。農地所有者には広報活動を通して、一層の周知徹底を図りたい。



私たちは気づいていないが、外国人を魅了する大地になった

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

## 保育園運営に関わる調査特別委員会報告

当特別委員会は、平成30年12月議会において設置され、6名の議員で設置の趣旨に基づいて、平成30年12月から令和元年6月まで10回の委員会を実施した。また、答申をまとめられた委員の方から「子どもの育ちの環境がどうあるべきか」についてご指導を頂いたほか、新潟県立大学の子ども学部の教授より「今後の保育現場のあり方」についてお話を伺った。更に、近隣市の大規模保育園の現状視察や当町の保育士からも聞き取りをし、検証した。

### 調査検証の主な内容

- 1、規模について  
今後の人口推計を基に、どのくらいの規模が子どもたちの育ちの環境として適当かについて調査
- 2、設置場所について  
周辺環境・通園アクセス等について調査
- 3、財政面  
当町の財政状況から財源確保や後年度負担について調査

### 考察

今後保育園児総数は240名が最大と推計される。規模については、混合保育を回避できる規模で、できるだけ小規模が望ましい。また、設置場所は、全町が利用することを考えると、現「ひまわり保育園」か「こぼと保育園」を中心に検討することが適当と考える。混合保育解消の観点から、上郷保育園・わかば保育園については、小学校と併せて早急に地元との調整が必要である。



- |      |    |     |
|------|----|-----|
| 委員長  | 石田 | タマエ |
| 副委員長 | 栗原 | 洋子  |
| 委員   | 大平 | 謙一  |
| ”    | 村山 | 道明  |
| ”    | 半戸 | 義昭  |
| ”    | 筒井 | 秀樹  |



## 町民登場

### この人に会いました…



桑原 さくらさん (大割野)  
(ヘアースalon)

津南町が好きです。母の影響もあり地元高校を卒業後、2年間美容師専門学校に行きました。東京で10年美容院に勤め、津南に帰ってきて4年になります。来てすぐ父に誘われ苗場山に行きました。小学生の頃何度か連れていかれたのですが、大人になっての感じ方が違うのに驚き、津南町の自然豊かな情景を感じ、私の楽しい思い出の1ページになりました。

現在、母のお店の後を継ぎ働いています。姉の影響もありすぐ商工会員になり女性部にも姉妹2人入りお世話になっております。熊野三社の女神輿や夏祭り、雪まつりなどに参加させていただき新しい友達もたくさんできました。東京ではできない経験で津南町の人の温かさを改めて感じています。

私のお腹には長男が入っており、8月には津南町民になります。私も子供たちを自然豊かなこの地で育て、冬のスノーボードや夏の苗場山に連れて行きたいです。いいなあーつなんまち。



苗場山9合目付近

第3回定例会は、9月9日(月)に開会予定です。お気軽に傍聴においでください。

## 編集後記

今年もツバメが帰ってきました。大事な家族の一員で毎年来るのですが、果たして去年の子どもだか別の家族かわかりません。渡り鳥で南の方(東南アジア)から飛んできますが、時に越冬つばめもいるようです。天敵から身を守るために人間のそばで暮らす習慣があり、昔の人はこの鳥のことを神の使いのように思い、災難から家族を守るとされてきたようです。今年も早くから巣作りを始め、1回目に4羽ほど育ちました。昼間は遊び呆けて夜になると我が家に帰ってきます。誰かさんに似ていますがとてもかわいいものですね。

津南町の子どもたちがいつでも故郷に帰って来られるよう、私たちも天敵のない安心して子育てのできる、自然豊かな故郷を守り造っていききたいものです。



1回目の巣立ち前